

本研究はインフォームド・コンセントを受けることを要しない後方視的研究であります。従って国の『人を対象とする医学系研究に関する倫理指針』第5章 第12. 1 (2)イ(ウ)に基づき、以下の通り情報公開します。

□研究課題

当院入院患者における急性期の筋エコー所見と退院時 ADL の調査

□研究機関

自治医科大学附属病院

□研究責任者の氏名

直井為任：自治医科大学附属病院リハビリテーションセンター

□研究対象

2018年4月1日から2020年3月31日まで自治医科大学附属病院に入院され筋エコーを施行された患者さん 82名を対象としております。

□本研究の目的・意義

急性期疾患のため入院された患者さんで肺炎などの感染性・炎症性疾患の方のうち、エコー検査で筋肉の変性が起き、ADLに影響を及ぼしている可能性があります。詳しくはわかりません。エコーでの筋肉の所見とADLの関係を調べることを目的としております。患者さんが解析対象となることを拒否された場合は対象から外させていただきますので、下記研究責任者まで御連絡下さい。ただし、連絡をいただいた時点で既に解析が行われている、あるいは研究成果が学会・論文などで発表されている場合には、対象から外すことはできませんのでご了承ください。なお、研究に参加されなくても、不利益を受けるようなことは一切ありません。

□研究方法

調査対象期間中に筋エコー検査を受けた上記82名のカルテ診療録より得られた情報を分析データとして使用します。利用する情報の項目はエコー所見、血液検査です。血液検査項目は筋肉と関係のあるCK、AST、LDH、CRPであり、統計学的に処理して比較を行います。

□研究機関

年 月 日から 2026年3月31日まで

□研究に関する情報公開の方法

貴方が御希望のある時は個人情報や研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究内容の資料を閲覧することが可能です。

□個人情報の取扱い

診療録から抽出する情報は、個人を特定できないように、研究責任者が氏名等、個人を特定できる情報を新しい符号に置き換えた上で研究に使用します。データは研究責任者がリハビリセンターにおいてパスワードを設定したファイルに記録しUSBメモリおよびCDに保存し、厳重に保管します。新しい符号と個人を特定する対応表も同様に厳重に保管します。また、研究成果は、個人を特定できないようにして学会発表や論文などで報告します。研究終了後は追加研究の可能性があるため試料、情報等を保管します。

□問合せ先

所属：自治医科大学附属院リハビリテーションセンター

職名：病院講師 氏名（研究責任者）：直井為任

電話番号：0285(58)8945

〈苦情の窓口〉

自治医科大学研究支援センター臨床研究企画管理部管理部門

TEL. 0285-58-8933